



建交労



2021年7月20日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2021年夏季闘争 No.9

2020年度推進ニュース③通算228号

発行責任者 佐藤 章

建交労関東トラック協議会は7月18日川崎教育文化会館にて17回総会開催！

建交労関東トラック協議会は、7月18日(日)午後から第17回定期総会を神奈川県川崎市教育文化会館で開催し栃木1名(Zoom参加)、群馬1名、埼玉4名、東京9名、神奈川7名、全国トラック部会鈴木事務局長(中央本部書記次長)の合計23名が参加しました。

総会の第一部は上村副議長(東京)の司会ではじまり、桜井幹事(群馬)が議長に選出されて進行。奥貫岳史議長(埼玉)はコロナ禍1年間のトラック運動を振り返りながら主催者挨拶をおこない総会成功への協力を呼びかけました。その後、大島事務局次長(神奈川)が経過報告及び次年度の課題と活動方針などを提案、続いて上村副議長が会計報告と予算提案、金崎監査委員(神奈川)が会計監査報告、Zoomで参加した石井幹事(栃木)が新年度役員を提案して全体討論に入りました。



主催者を代表して挨拶をする奥貫議長



討論のトップバッターには東京トラック部会の佐々木仁氏(京王新労組)が立ち、東京の1年間の運動の主な経過と京王電鉄バス(株)による建交労京王新労組つぶしの攻撃に抗して不屈に闘う20年の歩みが報告され支援が呼びかけられました。つづいて神奈川トラック部会からは赤羽氏が発言し、神奈川のトラック運動と三昭運輸分会争議の経過報告及び中労委闘争の勝利に向けた支援を訴えました。そのあと埼玉トラック部会からは鈴木洋平氏が専従者の確保に向けたとりくみなどについて発言しました。コロナ禍での総会を考慮して発言は3名で打ち切り、報告・提案されたすべての議題を全体で確認し総会第一部は成功裏に閉会しました。なお、総会で神奈川の佐藤章幹事が退任し、大島信雄氏が副議長に金崎美佐夫氏が幹事に就任しました。



総会第2部は全国トラック部会の鈴木事務局長による「改善基準告示」の見直しに向けた動きについての講演

総会第2部の学習会はトラック部会の鈴木正明事務局長が、自動車運転者の労働時間等の改善のための「改善基準告示」見直しに向けた国や業界の動きなどについてパワーポイントを使って分かり易く詳細に解説されました。



全国トラック部会の鈴木事務局長

内閣総理大臣 殿

唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声があがっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつづけます。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

名 前	住 所	募 金

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

【取扱団体】

連絡先：署名事務局（原水爆禁止日本協議会）
〒113-8464 東京都文京区湯島 2-4-4
電話：03-5842-6031